

障がい福祉に関する調査結果（平成 26.4～5）

障害福祉課

1 調査の目的

岐阜県障がい者総合支援プラン（仮称）の策定に向けた基礎調査として、県内の障がい者の意識・実状、要望等を把握し、障がい福祉行政の効果的な推進を図ることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：県内特別支援学校に通う小学部、中学部、高等部の児童・生徒
（約 2,500 名）の保護者

調査方法：各特別支援学校を通じて生徒・保護者に調査票を配布

調査期間：平成 26 年 4 月～5 月

回収結果：1,630 人（回収率：65.9%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しています。そのため、合計が 100 パーセントにならない場合があります。

3 調査結果

問 1 この調査票に記入されるのはどなたですか。

区 分	人数 (人)	割合 (%)
父又は母	1,545	94.8
その他※	55	3.4
無回答	30	1.8
計	1,630	100.0

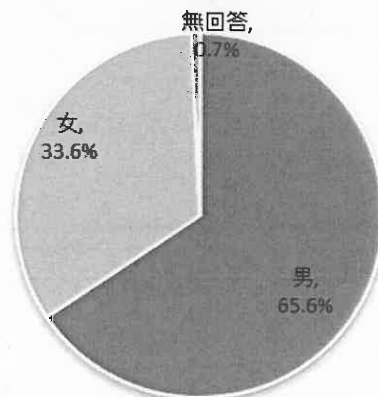
※「その他」の例

- ・祖父母、伯母
- ・施設職員（指導員）・担任



問 1-1 お子さんの性別を教えてください。

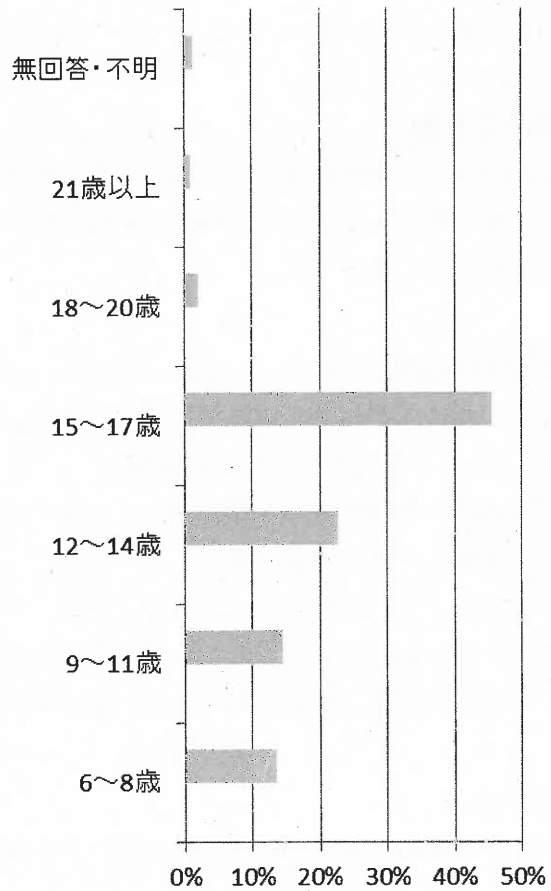
区 分	人数 (人)	割合 (%)
男	1,070	65.6
女	548	33.6
無回答	12	0.7
計	1,630	100.0



問1-2 お子さんの年齢、学年を教えてください。(平成26年4月1日時点)

年齢

区分	人数(人)	割合(%)
6歳	79	4.8
7歳	60	3.7
8歳	80	4.9
9歳	76	4.7
10歳	78	4.8
11歳	80	4.9
12歳	138	8.5
13歳	127	7.8
14歳	103	6.3
15歳	257	15.8
16歳	239	14.7
17歳	246	15.1
18歳	26	1.6
19歳	5	0.3
20歳	3	0.2
21歳以上	14	0.9
無回答・不明	19	1.2
計	1,630	100.0



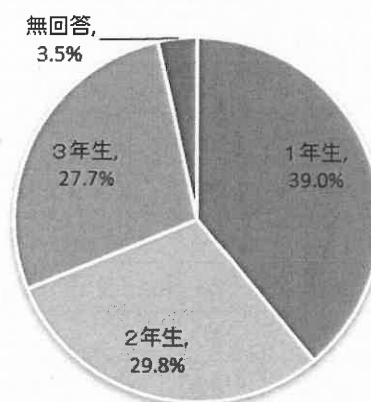
学校 (小学校)

区分	人数(人)	割合(%)
1年生	82	17.9
2年生	61	13.3
3年生	74	16.2
4年生	74	16.2
5年生	71	15.5
6年生	75	16.4
無回答	20	4.4
計	457	100.0



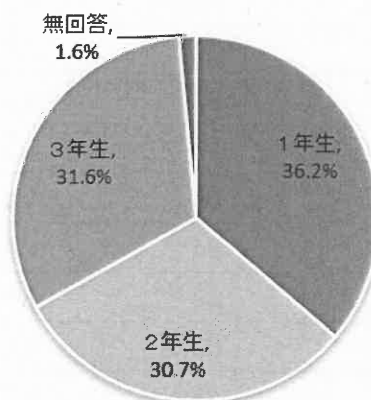
学校（中学校）

区 分	人数（人）	割合（％）
1年生	145	39.0
2年生	111	29.8
3年生	103	27.7
無回答	13	3.5
計	372	100.0



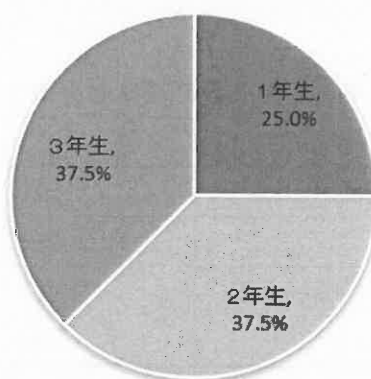
学校（高等学校）

区 分	人数（人）	割合（％）
1年生	280	36.2
2年生	237	30.7
3年生	244	31.6
無回答	12	1.6
計	773	100.0



学校（専門学校）

区 分	人数（人）	割合（％）
1年生	4	25.0
2年生	6	37.5
3年生	6	37.5
計	16	100.0



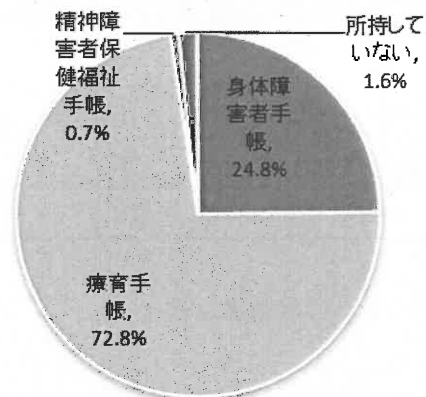
※この他、「無回答」が12

問 1-3 お子さんがお住まいの市町村はどちらですか。

区 分	人数 (人)	割合 (%)	市町村	人数 (人)	割合 (%)
岐阜市	342	21.0	養老町	20	1.2
大垣市	128	7.9	垂井町	27	1.7
高山市	92	5.6	関ヶ原町	4	0.2
多治見市	76	4.7	神戸町	18	1.1
関市	64	3.9	輪之内町	9	0.6
中津川市	40	2.5	安八町	9	0.6
美濃市	16	1.0	揖斐川町	13	0.8
瑞浪市	20	1.2	大野町	25	1.5
羽島市	54	3.3	池田町	22	1.3
恵那市	25	1.5	北方町	16	1.0
美濃加茂市	47	2.9	加茂郡	1	0.1
土岐市	52	3.2	坂祝町	6	0.4
各務原市	116	7.1	富加町	4	0.2
可児市	56	3.4	川辺町	11	0.7
山県市	13	0.8	七宗町	4	0.2
瑞穂市	55	3.4	八百津町	3	0.2
飛騨市	24	1.5	白川町	7	0.4
本巣市	29	1.8	御嵩町	11	0.7
郡上市	37	2.3	白川村	2	0.1
下呂市	27	1.7	一宮市	1	0.1
海津市	23	1.4	無回答	42	2.6
岐南町	20	1.2	計	1,630	100.0
笠松町	19	1.2			

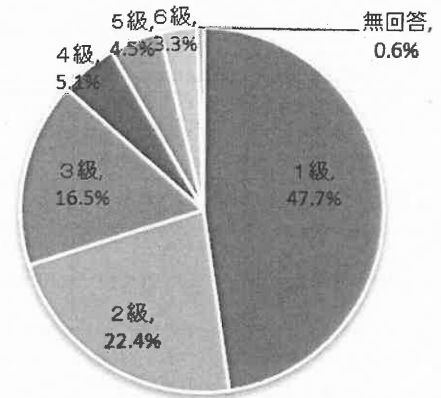
問 1-4 お子さんの手帳の種類は次のうちどれですか。

区 分	人数 (人)	割合 (%)
身体障害者手帳	491	24.8
療育手帳	1,439	72.8
精神障害者保健福祉手帳	14	0.7
所持していない	32	1.6
計	1,976	100.0



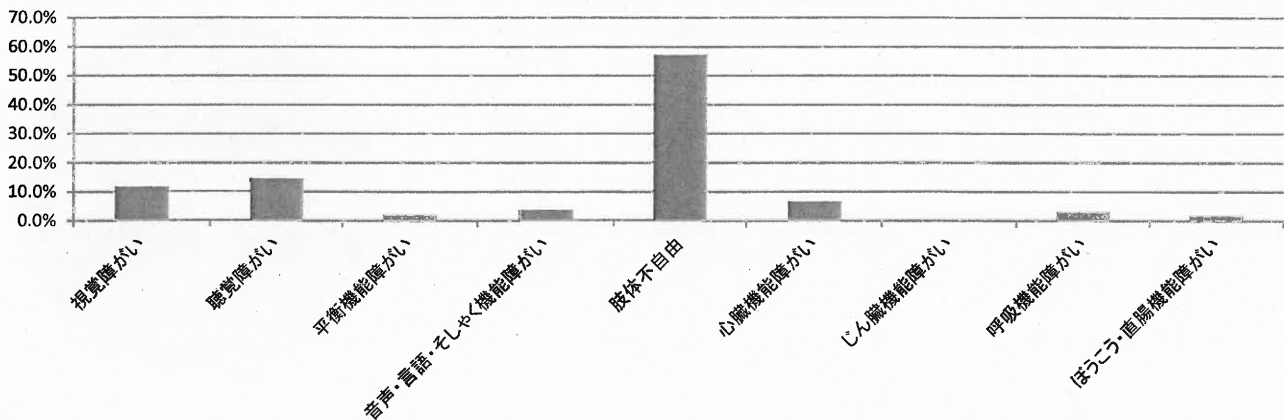
問 1-5 (問 1-4で「1. 身体障害者手帳」を選んだ方のみお答えください)
 お子さんの手帳に書いてある障がいの「等級」を教えてください。

区 分	人数 (人)	割合 (%)
1 級	234	47.7%
2 級	110	22.4%
3 級	81	16.5%
4 級	25	5.1%
5 級	22	4.5%
6 級	16	3.3%
無回答	3	0.6%
計	491	



問 1-6 (問 1-4で「1. 身体障害者手帳」を選んだ方のみお答えください)
 お子さんの手帳に書いてある「障がいの種類」を教えてください。

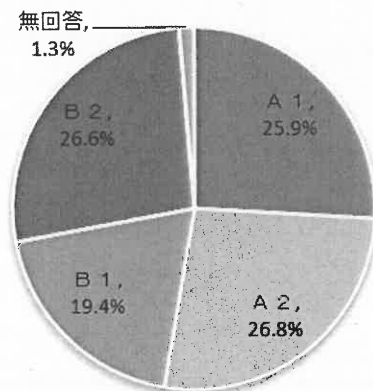
区 分	人数	割合 (%)
視覚障がい	63	11.6
聴覚障がい	78	14.3
平衡機能障がい	11	2.0
音声・言語・そしゃく機能障がい	19	3.5
肢体不自由	311	57.2
心臓機能障がい	35	6.4
じん臓機能障がい	2	0.4
呼吸機能障がい	16	2.9
ぼうこう・直腸機能障がい	9	1.7
小腸機能障がい	0	0.0
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	0	0.0
肝臓機能障がい	0	0.0
計	544	100.0



問1-7 (問1-4で「2.療育手帳」を選んだ方のみお答えください)

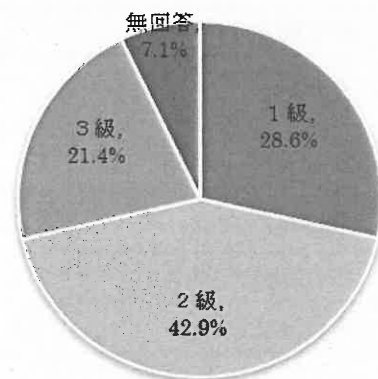
お子さんの手帳に書いてある障がいの「等級」を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
A1	373	25.9
A2	385	26.8
B1	279	19.4
B2	383	26.6
無回答	19	1.3
計	1,439	100.0



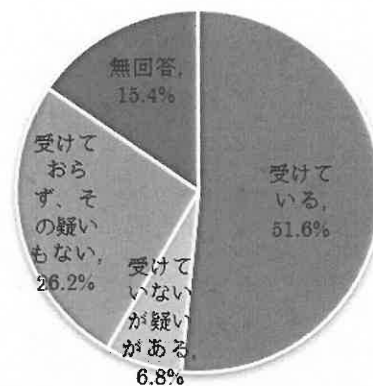
問1-8 (問1-4で「3.精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方のみお答えください) お子さん
の手帳に書いてある障がいの「等級」を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
1級	4	28.6
2級	6	42.9
3級	3	21.4
無回答	1	7.1
計	14	100.0



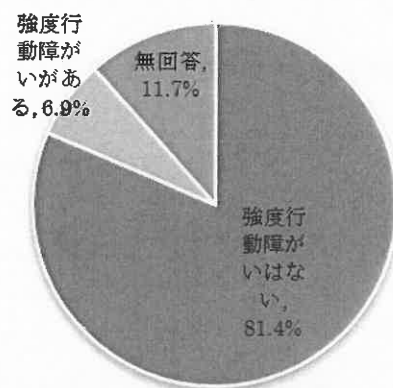
問1-9 お子さんは、発達障がいの診断を受けていますか。

区分	人数(人)	割合(%)
受けている	841	51.6
受けていないが疑いがある	111	6.8
受けておらず、その疑いもない	427	26.2
無回答	251	15.4
計	1,630	100.0



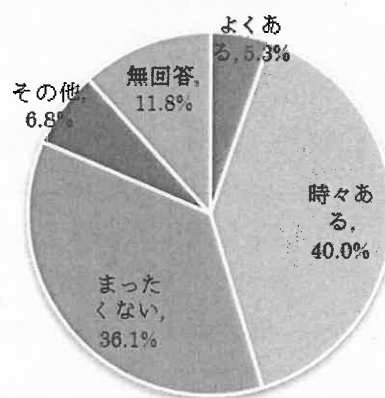
問1-10 お子さんには、強度行動障がいがありますか。

区分	人数(人)	割合(%)
強度行動障がいはない	1,327	81.4
強度行動障がいがある	113	6.9
無回答	190	11.7
計	1,630	100.0



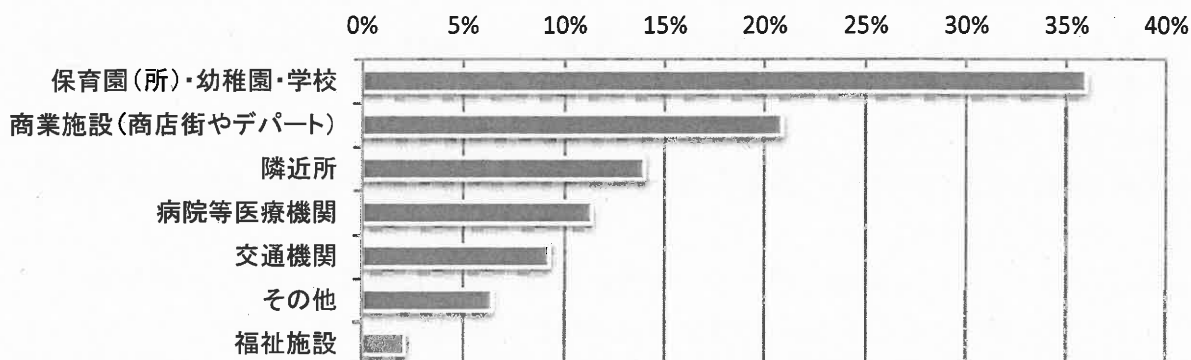
問2-1 障がいがあることにより差別的な扱いを受けたことがありますか。

区分	人数(人)	割合(%)
よくある	86	5.3
時々ある	652	40.0
まったくない	589	36.1
その他	111	6.8
無回答	192	11.8
計	1,630	100.0



問2-2 (問2-1で「よくある」か「時々ある」を選んだ方のみお答えください)
差別的な扱いを受けた具体的な場所を教えてください。

区分	人数(人)	割合(%)
保育園(所)・幼稚園・学校	409	36.0
商業施設(商店街やデパート)	237	20.9
隣近所	159	14.0
病院等医療機関	129	11.4
交通機関	105	9.2
その他	73	6.4
福祉施設	24	2.1
計	1,136	100.0



問2-3 (問2-1で「よくある」か「時々ある」を選んだ方のみお答えください) 差別的な取り扱いと感じた具体的な内容を記載してください。

※内閣府が示す「社会的障壁」の項目によって分類しています。

○社会における事物(通行、利用しにくい施設、設備など)

- ・ 病院に行くと、段差があったり幅が狭かったりして利用しにくい。
- ・ 歩道の幅が狭かったり、段差、傾きがあり普段の移動が困難。ましてや、緊急時に避難所に行くことは不可能に近い。
- ・ 駅で階段や段差が多く、障がい児用バギーを利用することが困難。また、駅員の方に利用を嫌がられるといったこともある。
- ・ ストレッチャータイプの車椅子を利用しているため、入店を断られた。

○制度(利用しにくい制度など)

- ・ 引っ越しで他の市町村に移った際に、保育園への入園を断られた。
- ・ 保育園に入園する際に、障がいがあるということで、保護者の同伴がないと入園できないと言われた。
- ・ 保育園で、手がかかるということで普通の子どもより登園時間を遅くするように言われた。

○慣行(障がいのある方の存在を意識していない慣習、文化など)

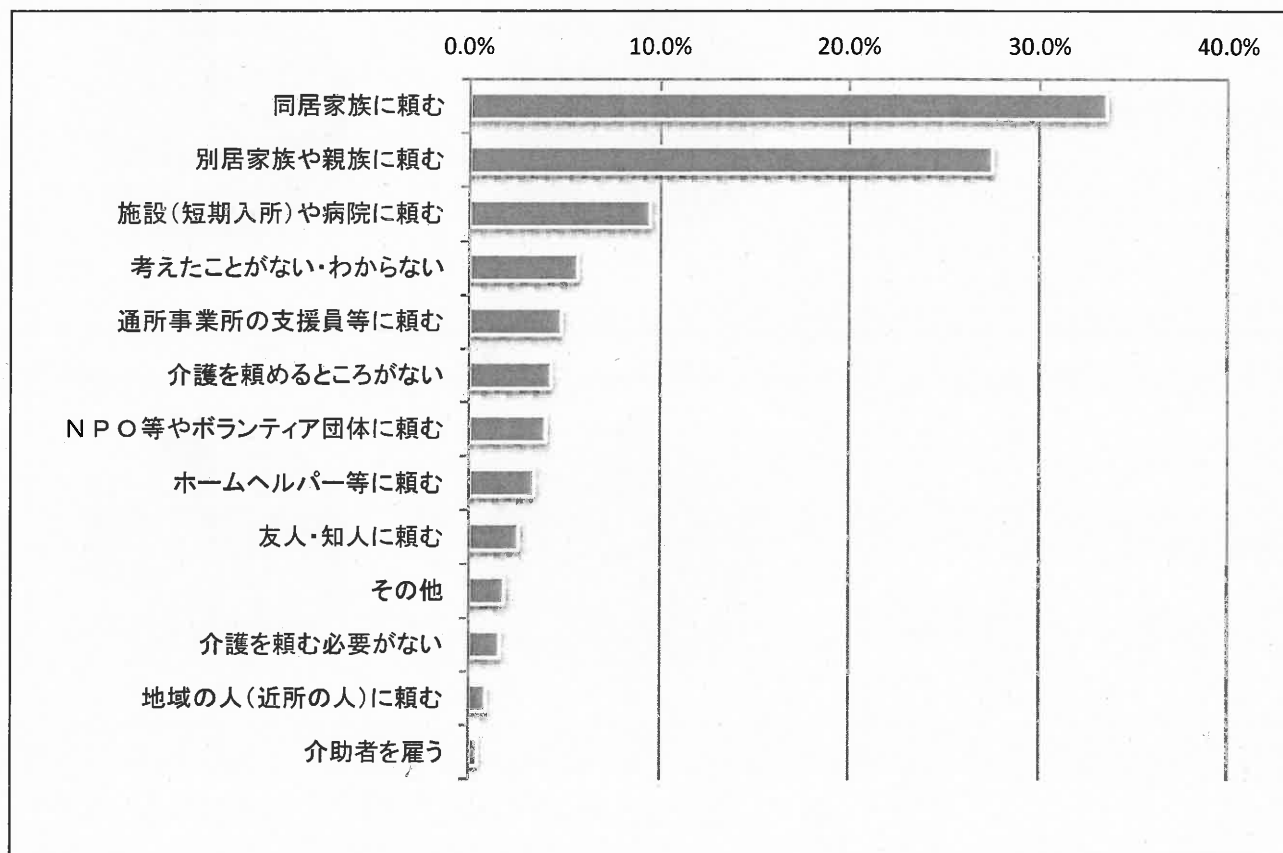
- ・ 散歩していたら、自転車が横を通り過ぎる時「危ない、邪魔」と言われた。
- ・ 特別支援学級に通っている子どもは、他の生徒と同じ行事に参加できない。
- ・ 急に声を出したり、静かにじっとしていない時に、しつけが悪いと注意された。
- ・ 仕方のないことかもしれないが、健常の子どもと同じことをさせてもらえなかった。
- ・ 地域の行事、子供会活動に参加させてもらえなかった。
- ・ 障がい者用の駐車場に車を入れたとき、一般の方から手帳の提示を要求された。
- ・ 日帰り旅行を申し込んだが、子どもの障がいについて説明したら定員に達していないにもかかわらず断られた。

○観念(障がいのある方への偏見など)

- ・ 特別支援学級に在籍している子どものことを周りの子が「馬鹿だから」と言っていた。本人はとても傷つき、学校には満足で充実しているが、他の人に自分の学校名を言いたがらない。
- ・ 予防接種を受ける時に、看護師から心無いことを言われた。
- ・ 福祉に携わる人の中でも、障がいのある人に言うべきでないこと、やってはいけないことをする人がいる。
- ・ 親が子どもに対して、障がいのある子と関わらないように教えていることがあった。これでは何の解決にもならない。様々な人が共生できる社会になってほしい。

問3-1 お子さんを主に介護、支援している方が万一病気や事故等で、一時的に介護ができなくなったとした場合、どうしますか。

区 分	人数 (人)	割合 (%)
同居家族に頼む	997	33.6
別居家族や親族に頼む	817	27.5
施設（短期入所）や病院に頼む	281	9.5
考えたことがない・わからない	168	5.7
通所事業所の支援員等に頼む	142	4.8
介護を頼めるところがない	126	4.2
NPO等やボランティア団体に頼む	118	4.0
ホームヘルパー等に頼む	101	3.4
友人・知人に頼む	77	2.6
その他	55	1.9
介護を頼む必要がない	48	1.6
地域の人（近所の人）に頼む	27	0.9
介助者を雇う	14	0.5
計	2,971	100.0

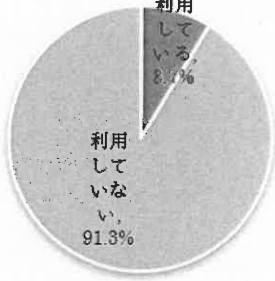
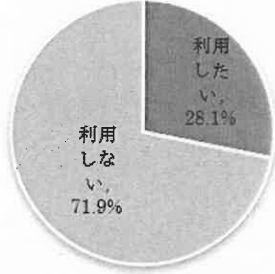


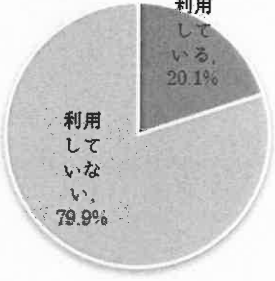
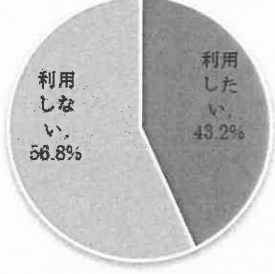
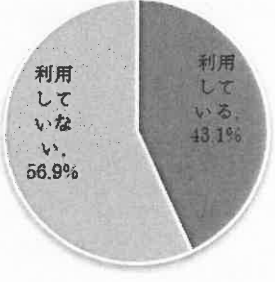
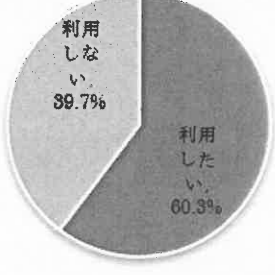



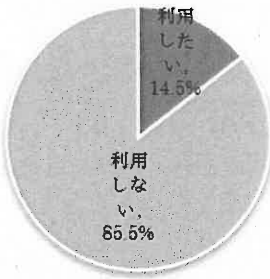

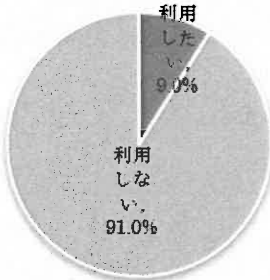
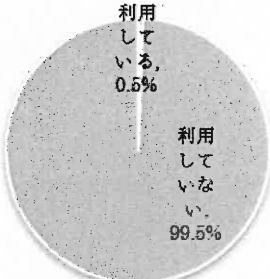


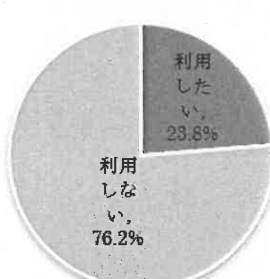
問4-1 お子さんが現在利用しているサービスは何ですか。また、今後3年間で利用したいサービスは何ですか。

(1)「現在利用しているか」について

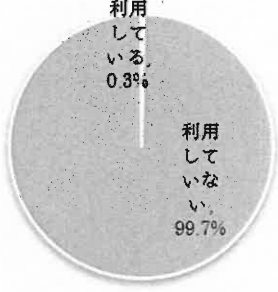
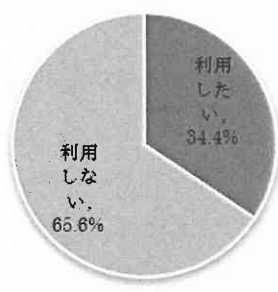


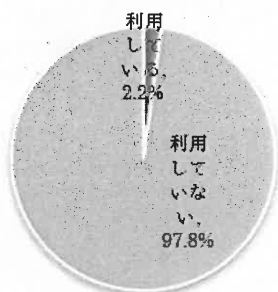
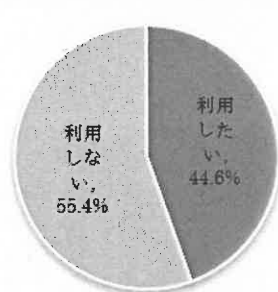
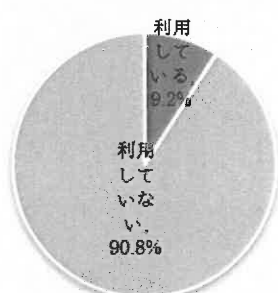
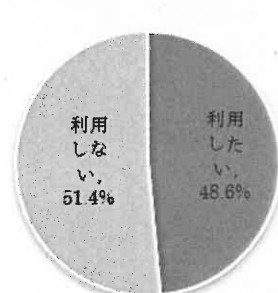
(2)「今後3年間の間に利用したいか」について

区 分	現在利用しているか		今後3年間の間に利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
居宅介護	70	910	128	672
	<p>利用している 7.1% 利用していない 92.9%</p>		<p>利用したい 16.0% 利用しない 84.0%</p>	
重度訪問介護	15	944	70	715
	<p>利用している 1.6% 利用していない 98.4%</p>		<p>利用したい 8.9% 利用しない 91.1%</p>	
同行援護	22	932	64	707
	<p>利用している 2.3% 利用していない 97.7%</p>		<p>利用したい 8.3% 利用しない 91.7%</p>	

行動援護	85	890	230	588
				
短期入所	100	915	334	542
				
障害児相談支援事業 (障害児相談支援)	197	784	348	458
				
放課後等デイサービス	503	663	564	371
				

福祉型障害児入所施設	20	934	114	671
				
医療型障害児入所施設	13	926	70	708
				
療養介護	3	593	49	567
				
生活介護	6	594	157	503
				

施設入所支援	8	592	101	540
共同生活援助 (グループホーム)	2	594	120	521
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	27	573	200	446
就労移行支援	3	591	265	413

就労継続支援A型	2	590	227	433
				
就労継続支援B型	4	587	253	435
				
一般相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)	13	583	298	370
				
特定相談支援 (計画相談支援・障害児相談支援)	55	543	324	343
				

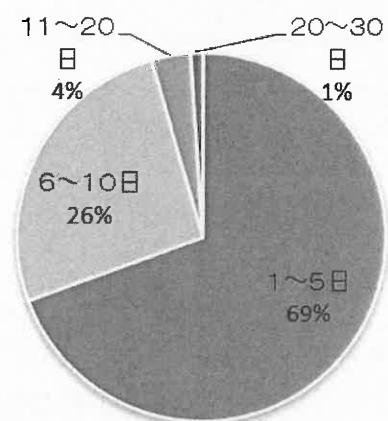
問4-2 (問4-1で、次のサービスについて(1)で「利用している」(2)で「利用したい」に○をつけた方のみ回答してください)

現在のサービスの利用頻度を教えてください(利用している又は今後3年間の間に利用したいと考えているサービスのみ記載してください)

<現在の利用頻度>

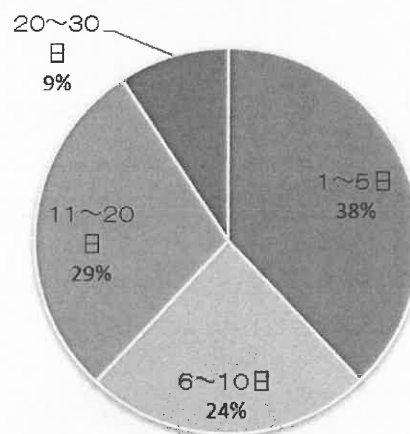
①短期入所

利用頻度(毎月)	人数(人)	割合(%)
1~5日	61	69.3
6~10日	23	26.1
11~20日	3	3.4
20~30日	1	1.1
計	88	100.0



②放課後等デイサービス

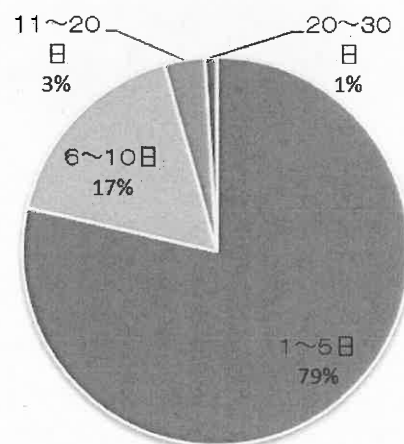
利用頻度(毎月)	人数(人)	割合(%)
1~5日	184	37.9
6~10日	117	24.1
11~20日	140	28.8
20~30日	45	9.3
計	486	100.0



<今後3年間の利用頻度>

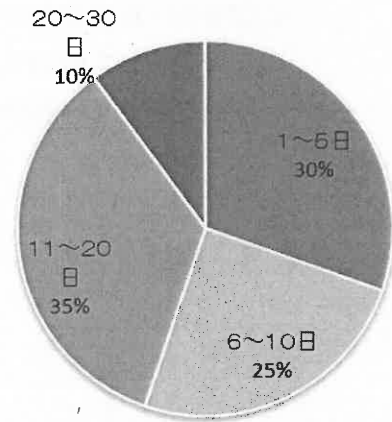
①短期入所

利用頻度(毎月)	人数(人)	割合(%)
1~5日	162	78.6
6~10日	35	17.0
11~20日	7	3.4
20~30日	2	1.0
計	206	100.0



②放課後等デイサービス

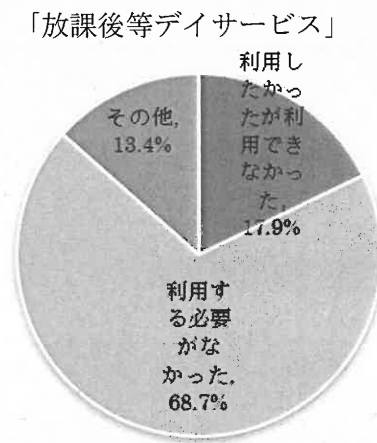
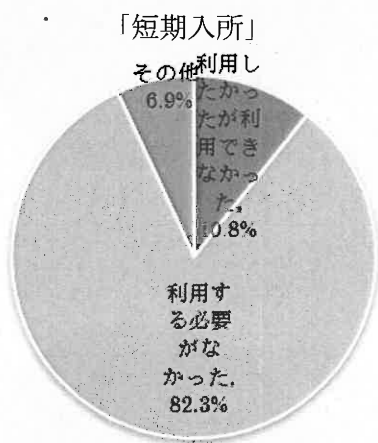
利用頻度（毎月）	人数（人）	割合（％）
1～5日	147	30.4
6～10日	120	24.8
11～20日	167	34.6
20～30日	49	10.1
計	483	100.0



問4-3 (問4-1の(1)「現在利用しているか」の項目のうち、次のサービスについて「利用していない」に○をつけた方のみ回答してください)

あなたがサービスを利用していない理由を教えてください。

	利用したかったが利用できなかった	利用する必要がなかった	その他	計
短期入所	67	512	43	622
放課後等デイサービス	84	323	63	470

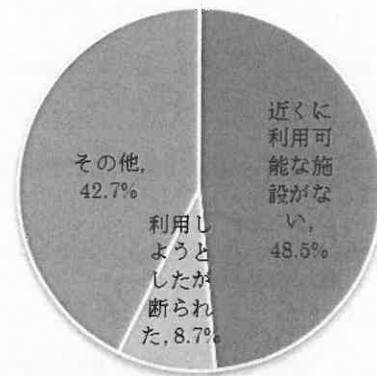
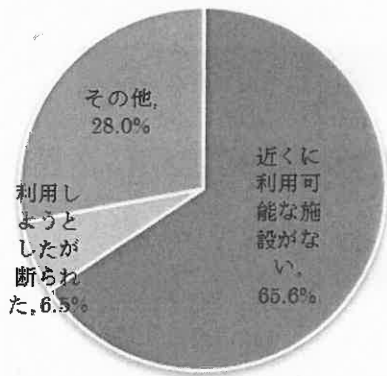


問4-4 (問4-3で「利用したかったが、利用できなかった」を選んだ方のみお答えください)
サービスを利用できなかった理由を教えてください。

	近くに利用可能な施設がない	利用しようとしたが断られた	その他	計
短期入所	61	6	26	93
放課後等デイサービス	50	9	44	103

「短期入所」

「放課後等デイサービス」



問5-1 障がい者に対する支援として、行政（県）はどのようなことを充実するべきだと思いますか。（回答いただいている保護者の方が感じるものを選択してください）

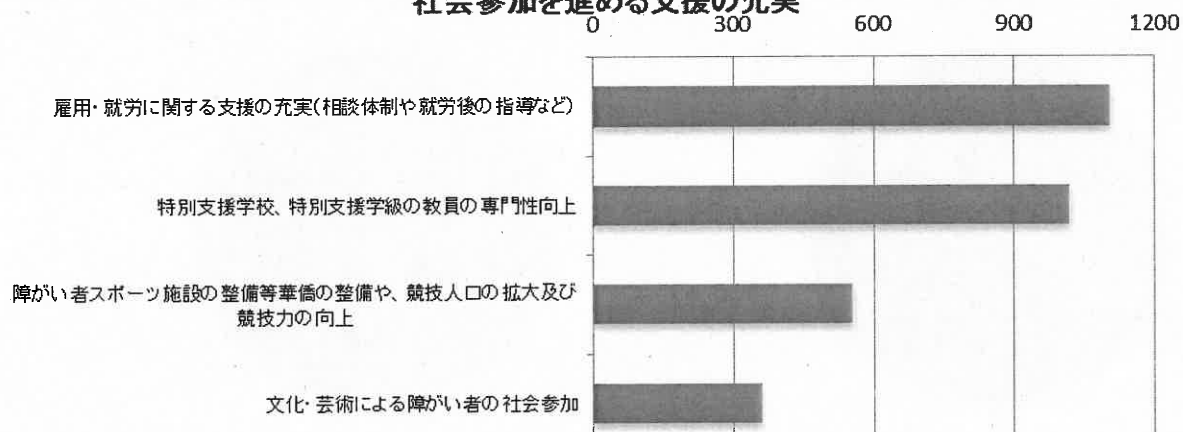
I 安心して暮らせる社会環境づくり	人数（人）
福祉、保健・医療に従事する人材の育成	930
障がいを理由とした差別解消、虐待の防止	844
地域での支え合い活動やボランティアの育成と活動支援	662
公共施設のバリアフリー化等ひとにやさしい街づくり	509
防犯・防災対策の充実	436
手話通訳者、要約筆記者、点訳・朗読奉仕員、盲ろう者通訳、介助員の養成・派遣など、意思疎通支援の充実	316
相談業務のワンストップサービス体制の確立	302

安心して暮らせる社会環境づくり



II 社会参加を進める支援の充実	
特別支援学校、特別支援学級の教員の専門性向上	1,019
雇用・就労に関する支援の充実（相談体制や就労後の指導など）	1,104
障がい者スポーツ施設の整備等華僑の整備や、競技人口の拡大及び競技力の向上	556
文化・芸術による障がい者の社会参加	362

社会参加を進める支援の充実



III 日常生活を支える福祉の充実

身近な地域で必要な療育を受けられる支援体制の構築	837
障害福祉サービスを円滑に受けるための相談支援体制の充実	762
発達障がいに関する専門的な支援が受けられる体制の整備	754
グループホームや日中活動の場の整備促進	696
公営住宅への障がい者の優先入居	358
強度行動障がいのある児者の支援体制の構築	290

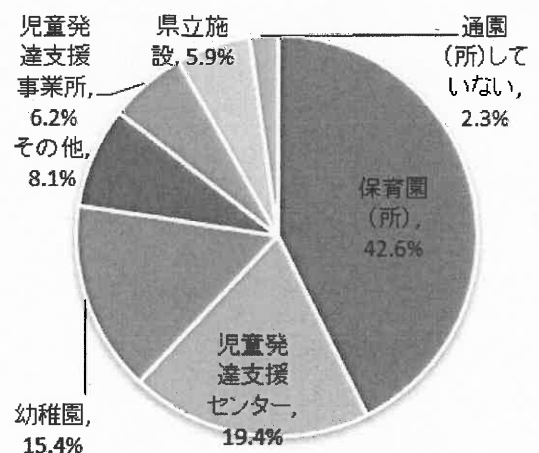
日常生活を支える福祉の充実



IV 質の高い保健・医療提供体制の整備		
介護を行う家族に対する支援体制の充実(短期入所、介護人材派遣等)		751
心身障がい児を早期から療育する体制の構築		677
重症者(重症心身障がい児者等)の受け入れ施設の整備		514
在宅生活を支える障がい児在宅医療体制の充実		467
難病患者への福祉的・医療的支援		357
入院中の精神障がい者の地域移行支援		190
質の高い保健・医療提供体制の整備 0 300 600 900 1200		
介護を行う家族に対する支援体制の充実(短期入所、介護人材派遣等)		
その他		105
特になし		17
計		13,815

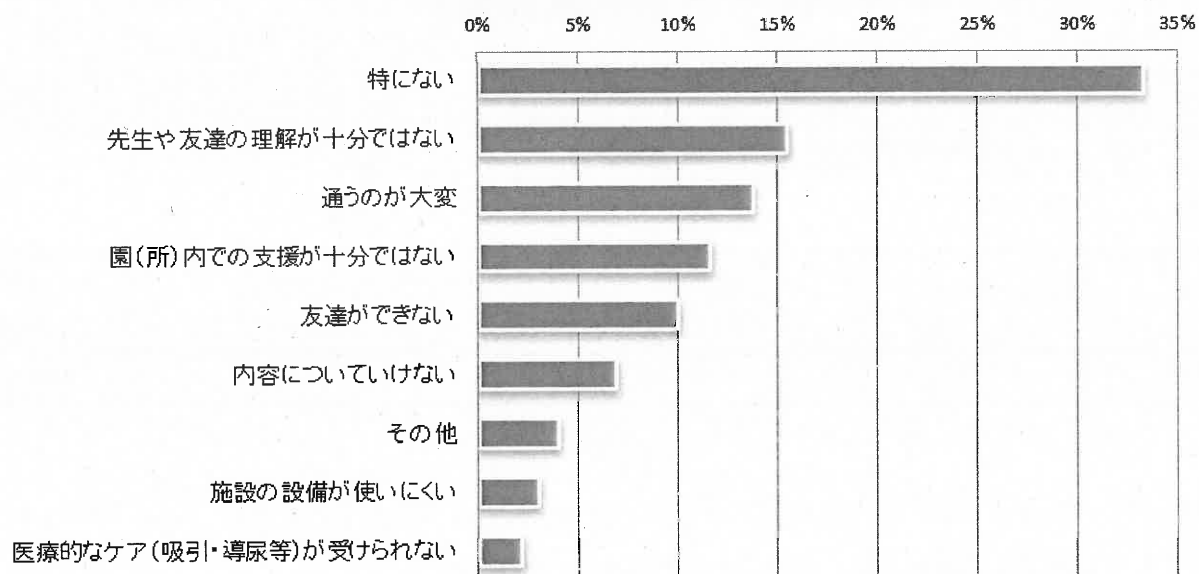
問6-1 お子さんが通園(所)していたところはどこですか。

	人数(人)	割合(%)
保育園(所)	985	42.6
児童発達支援センター	448	19.4
幼稚園	356	15.4
その他	188	8.1
児童発達支援事業所	144	6.2
県立施設	137	5.9
通園(所)していない	53	2.3
計	2,311	100.0



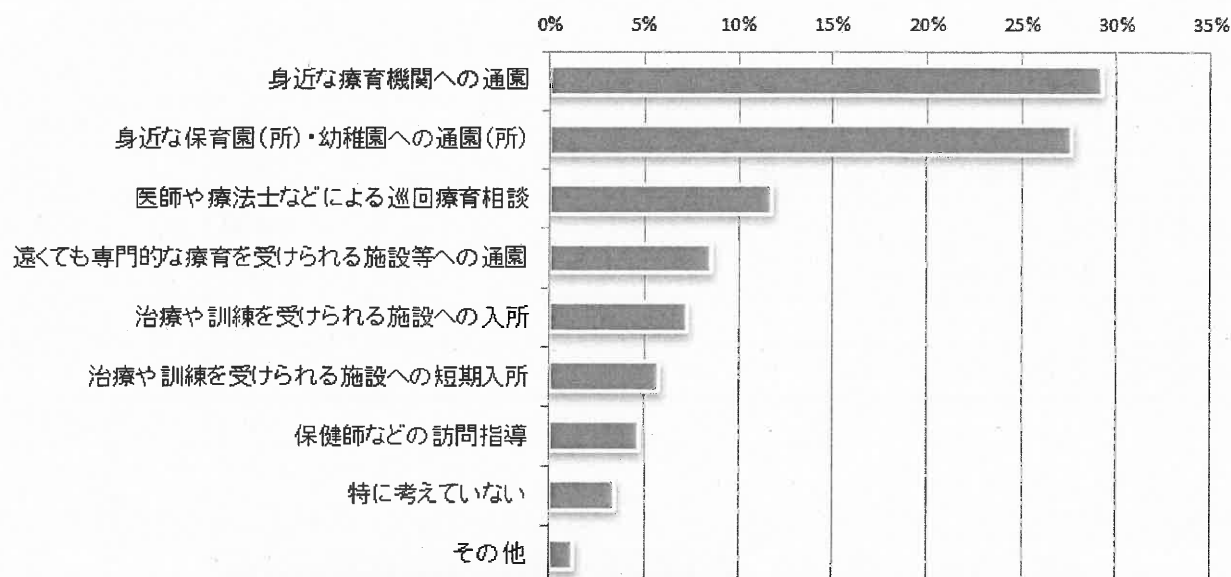
問6-2 通園（所）先で困っていたことはありますか。

	人数（人）	割合（％）
特にない	588	33.2
先生や友達の理解が十分ではない	274	15.5
通うのが大変	243	13.7
園（所）内での支援が十分ではない	205	11.6
友達ができない	176	9.9
内容についていけない	122	6.9
その他	70	4.0
施設の設備が使いにくい	53	3.0
医療的なケア（吸引・導尿等）が受けられない	38	2.1
計	1,769	100.0



問6-3 就学前の日中の過ごし方として、必要だと思われるものはどういったことですか。

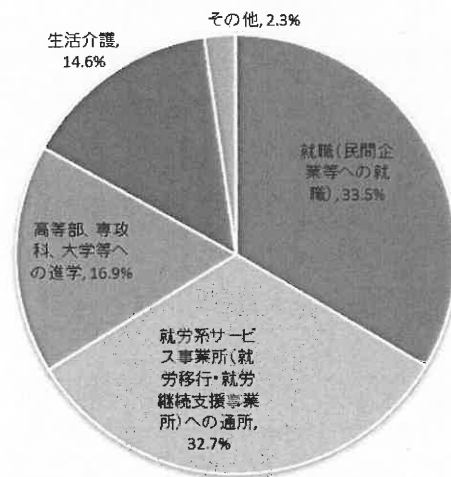
	人数 (人)	割合 (%)
身近な療育機関への通園	917	29.3
身近な保育園 (所)・幼稚園への通園 (所)	867	27.7
医師や療法士などによる巡回療育相談	370	11.8
遠くても専門的な療育を受けられる施設等への通園	269	8.6
治療や訓練を受けられる施設への入所	228	7.3
治療や訓練を受けられる施設への短期入所	182	5.8
保健師などの訪問指導	148	4.7
特に考えていない	109	3.5
その他	42	1.3
計	3,132	100.0



問7-1 (中等部・高等部・専攻科の児童生徒についてのみ回答してください)

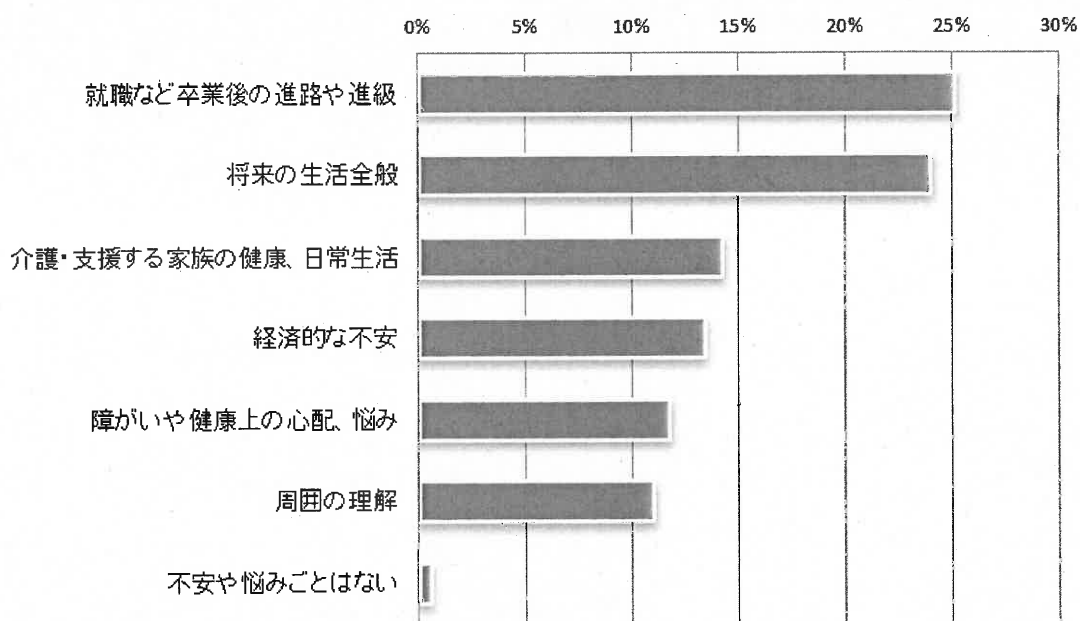
お子さんが特別支援学校を卒業されたら、どのような進路を予定していますか。

	人数(人)	割合(%)
就職(民間企業等への就職)	445	33.5
就労系サービス事業所(就労移行・就労継続支援事業所)への通所	434	32.7
高等部、専攻科、大学等への進学	224	16.9
生活介護	194	14.6
その他	30	2.3
計	1,327	100.0



問7-2 現在生活の中で困っていることや、将来に対する不安や悩み事などはありますか。

	人数(人)	割合(%)
就職など卒業後の進路や進級	1,135	25.1
将来の生活全般	1,084	24.0
介護・支援する家族の健康、日常生活	643	14.2
経済的な不安	605	13.4
障がいや健康上の心配、悩み	531	11.8
周囲の理解	496	11.0
不安や悩みごとはない	25	0.6
計	4,519	100.0



自由記述（上記選択肢の他、困っていることや悩みがありましたら記入してください）
※主要意見を抜粋（「第2期岐阜県障がい者支援プラン」の項目に従って分類しています）

I 社会環境分野

○障がい者の人権尊重と心のバリアフリーの促進

- ・ 子どもには、社会とは戦って身を守らねばならないところではなく、温かく手を差し伸べてくださるところだという思いの中で生きていってほしい。
- ・ 高機能自閉症であるため、集団の中や社会の中では他人と同じように行動することが困難であることが分かってもらえない。
- ・ 認知症やアルツハイマーという言葉がタブーでなくなったように、知的障がい者、自閉症という言葉もタブー視しないで、どんどん積極的に啓発運動をして世間に知ってもらいたい。
- ・ 地域での差別的なこともありそれに耐えていけるか心配。地域の大きな問題として考えてほしい。
- ・ 小中学校等の道徳の時間にもう少し障がいについて勉強するような、理解促進につながる時間を設けていただけるとよい。

○福祉のまちづくりの推進

- ・ 障がい者(身体・知的)のほか、乳幼児、高齢者など様々な立場の方が整った使いやすいトイレがあると外出しやすくなる。
- ・ 身障者マークのついているトイレに幼児用のオムツ替えのベッドしかなく、大人用のベッドがないため、外出時に困っている。

○身近な相談支援体制の確立

- ・ 手続等あちこちに行くのは大変なので、一か所でできるようにしてほしい。
- ・ この先永く障がいのあるわが子と生活していきたいので、いろいろなサービスを利用していきたいと思っている。行政でも使えるサービスをわかりやすく教えてほしいし、相談窓口がほしい。
- ・ 兄弟で違う障がいの診断を受けており、進路も違うし育て方も違う。どこの誰に相談すればよいのか分からない。別々のところで相談をするのではなくワンストップで相談できる場所があるとよい。

II 自律・社会参加分野

○教育の充実について

- ・ 障がい児には健常児のような選択の幅が無い。
- ・ 特別支援学校高等部卒業後、進学という道が無いため一般社会人に近づく道が止まってしまう。そこからさらに進歩させていかなければ、自立はありえないと思う。
- ・ 障がいがあっても教育を受ける権利があるの本人がそれを選択できないのは悲しいこと。
- ・ 他府県と比べて特別支援学校の教員の少なさに驚くが、少ない人員の中でも充実した教育内容を実践しておられて頭が下がる思い。先生方が健康で長く健全に勤務していただけるよう人員の補充をしていただきたい。

- ・ 放課後等デイサービスの必要性は、健常児の親よりずっと切実。もっと積極的な対応をお願いしたい。
- ・ 学校の長期休暇で子供たちのリズムが崩れてしまい、家庭での支援がとても大変。休曜日数の見直しをしていただきたい。
- ・ 2～3年でどんどん教師も変わっていくため無責任になりがちだと思う。特別支援学校の教師だけは異動を減らし同じ先生が同じ子供を数年続けてみるようにすべきだと思う。
- ・ 通常校の特別支援学級の先生をもっと増やし充実させてほしい。支援の手が足りないために特別支援学級に入れない。
- ・ 保護者に支援制度を伝えることもとても大切で、できる限り早期の段階で保護者が将来のことを学ぶ機会を作ることが必要。
- ・ 学校が自宅の近くにでき送迎がとても楽になり、負担が軽減された。
- ・ 学校では行き届いた指導をしていただいているので安心しているが、長期休暇は一応デイサービスに登録してあるものの、元気な子供たちで満員で、重症心身障害児は利用できない。

○雇用・就労の促進

- ・ 就職を希望しているが、就職することが可能なのか、就職できても、職場での問題をどこに相談したらいいのか。どんな支援を受けられるのかわからないことが多く不安である。

○障がい者スポーツ、芸術、文化活動等の充実

- ・ 一番体を動かさなくてはいけない子供のころから障がい者がスポーツを楽しめる場所を作ってほしい。
- ・ 障がい者が社会へ参加していくには一般の人と一緒にスポーツをして体を動かすことがお互いの理解にとっても大事なことだと思う。
- ・ 休日安心して過ごせる場所がなく結局家の中で過ごすことになる。レクリエーションやクラブ活動のような、余暇支援の場所があると良い。

Ⅲ 日常生活分野

○障がい者の地域生活支援

- ・ 障がいのある子を持つと兄弟の学校行事への参加が難しい。障がい児の受け入れ先が無ければ行事に参加できないというのは仕方ないと思う反面、おかしいと思う。
- ・ 親がいなくなったとき、その後の生活が心配。ひとり暮らしをする生活能力がない場合、何を頼りに生活すれば安心なのか。
- ・ とにかく卒業後の生活介護の施設が少なすぎる。在宅介護になるのではないかと不安。
- ・ 重度障がい者はやはり家族や地域だけでなく入所施設を利用しながら生活していけるシステムが整備されれば親はとても安心がある。
- ・ 卒業後の進路、将来に不安がある。通所するにも今現在行き場がなく、先輩のお母さん方は支援に苦労されている話を聞く。数年後の通所先、その後の入所先があることを願っている。
- ・ 長期休暇中のデイサービスに行ける時間が増えるといい。
- ・ 子供が3人いるが障がいのある子がどうしても手がかかり、他の2人に対して手がかけられ

ず、精神的に不安定にさせてしまっている。

- ・ 学校に通学していた時のように将来子どもが安心して通える場所づくりをどんどん進めてほしい。家の閉じ込めてしまう生活にはしたくない。
- ・ 住んでいる地域（市町村）によって福祉への取り組みに違いがあるように感じるため、どの地域にも同じように充実してほしい。
- ・ 病院への付き添いでも移動支援が使えるようにしてほしい。
- ・ 定員の関係で、将来的に入所施設に入れるかどうか不安。
- ・ グループホームが少ない。
- ・ 児童の日中一時・放課後支援サービス等の施設は急速に増えていますが、卒業後の就労施設の充実には課題があると思う。
- ・ 高校卒業後の選択肢がなさ過ぎて困る。受け入れてくれるところが少なすぎる。
- ・ 就労継続支援 A 型は増えていく一方、就労継続支援 B 型は増えていかず、将来子供が学校卒業後行き先があるか不安。軽度の人に行き先はいろいろ選択肢があるが、重度の人に行き先が限られているのはおかしい。
- ・ 就労以前の重度の子たちを安心して託せるような生活の場を、何とか作ってほしいと願っている。
- ・ 近くにショートステイをやっているところがないので、何かあった時に預かってもらえるところがなくて困る。

IV保健・医療分野

○障がい者に対する適切な保健医療サービスの充実

- ・ 小児から、成人、その後も、生涯を通じて診察していただける医療機関があるとよい。新しいところにかかるたび、幼少の頃、あるいは学生の時から話をしなければならない。
- ・ 児童の入院施設が岐阜には全くない。とにかく入院施設がまず必要。
- ・ 医療的ケアが必要な子は卒業後の預け先がほとんどないので、預けられるような施設をもっと作っていただきたい。
- ・ 幼児期の療育的な場所はあるが、大人になってからのそういった場所がない。

○リハビリテーション体制の整備

- ・ 常にリハビリが必要で、小学校1年～6年まで週一で自宅への訪問リハビリを受けていたが、今は受けられていない。何かうまくいくサービスがほしい。

